

閑上地区まちづくり協議会 世話役会(178) 議事録

日 時	令和元年 11 月 19 日 (火) 18:30~21:00
場 所	閑上公民館会議室 (2 階)
出席者	■針生勉 ■今野義正 □阿部ひで □今野慎介 ■南部比呂志 ■宇佐美久夫 ■千葉洋子 □出雲隆 (事務局)UDW豊嶋、コンサルタント2名
オブザーバー	市職員 震災復興部3名 坂口先生 仙台高専生3名
議 題	0. 事前確認 1. 情報共有 2. 仙台高専からの研究発表 3. プロセスの伝承について 4. その他
資 料	資料-0 次第、第177回世話役会議事録案 資料-1 ふるさと名取秋まつり報告書 資料-2 みやぎまちづくり自慢大会企画書、 資料-3 復興プロセスの伝承企画書 資料-4 仙台高専発表資料 資料-5 市提供資料 (閑上西地区交流会の報告とお知らせ)

○ 協議要旨

0. 事前確認について

<議事録確認>

- ・第177回世話役会議事録は、不適切な箇所があれば後ほど事務局まで通知すること。

1. 情報共有

<前回からの動き>

- ・西地区秋の味覚を楽しむ会の報告があった。
- ・ふるさと名取秋まつりの報告があった。
- ・議員懇談会の報告があった。
- ・IMONI-1 グランプリの報告があった。

<今後の予定>

- ・11/30 西地区住民懇親会、12/15 クリスマス会、1/18 歌謡ショー開催のお知らせがあった。

2. 仙台高専からの発表

- ・仙台高専 (羽田・針生・坂口先生) から研究発表があった。

3. プロセス伝承について

- ・企画について議論した。

4. その他

- ・復興センターから依頼があり、議論した。
- ・名取市よりアンケートについて説明があった。

<次回世話役会>

- ・次回世話役会は12月3日（火）とする。

次回予定:世話役会(179)12/3（火）18:30～ 閑上中央公民館会議室

以下、世話役会の主な意見について記載する。

0. 事前確認

資料-0 第177回世話役会議事録案

<議事録の確認>

- ・第177回世話役会議事録は、不適切な箇所があれば後ほど事務局まで通知すること。

1. 情報共有

<世話役の情報提供>

- ・11/2 西地区のもりあげ隊を中心に芋煮会が開催された。90数名が集まってくれた。目的としては、町内会の再生を目指している。
⇒女性が多く参加してくれたが、男性の参加が少なかったので11/30の夜に懇親会を開いて若いお父さんたちを連れ出そうと考えている。（市）
- ・11/3 秋まつり。パネル展示や風船、フォトフレームでブースを出店した。いつもよりお客様が少なかったように思う。
⇒開催報告の開催日3日（日）に修正。午前中、風船人気は大変だったが、フォトフレームとマッチしていて良かった。中に入って見てくれる方もいた。予定完成した施設の紹介は大きいと思った。あとは写真のほうで確認する。（事務局）
- ・11/4 芋煮会は参加者がいないため、割愛。
- ・11/6 議員懇談会、閑上公民館で開催。針生代表が出席した。第6次長期総合計画に則って名取市としての方向性や議員さんの活動の紹介を受けた。質疑応答の中では、同じ人からの質問に議員が答える形だった。進展的な話より、現状の課題に対してどのような取組みをするのかというような質問があった。
⇒11/9 IMON I-1 グランプリ、かわまちてらすでコンテスト形式の芋煮を行った。天気も良く、販売1時間で完売するような店もでた。優勝はささ圭。すべての店が完売だった。ミズベリングの活動も財政的な課題が多かったが、今回は良かったと思う。（事務局）
- ・11/10 中央第一団地芋煮会、天気は良かったが風が強かった。いつもの顔ぶれしか出てこなかった。細かい課題を抱えながらやっている。
- ・組合と自治体は違いから、統一が難しい。

<今後の予定>

- ・11/30（土）西地区住民懇親会。18時から閑上公民館で開催。
- ・12/15（日）クリスマス会を予定している。場所は保育所。
- ・2020/1/18に閑上公民館で歌謡ショーがある。来月初めにチラシを配る予定。
- ・名取市からの情報提供は、順番をかえて後ほど。

2. 仙台高専からの研究発表

◎まちびらき（羽田）

- ・17番。会場かわまちてらす、メイン会場が朝市とあるが他にも会場はあった。その場所もきちんと載せてあげるべきだと思う。会場は小さいが、そこも含めての2万人ですと、規模に関係なく載せたほうが良い。あとは、まちびらきの開催日が日曜日だったので、通常のゆりあげ港朝市の来客数を調べて、その人数を引いてもこのくらいの来客があったということを説明できたらいいと思う。手元情報であってもいいと思う。（針生）
- ・まちびらきは、積み重ねの中でハード部分が出来上がってきて、複合された状態だから、聞いている人にわかりやすくあってもいいと思う。（今野）
- ・一番初めにあった予算、芸能人パワーじゃないがお金を使ってやってきたところと、少ない予算でやっているところもあるので、そういうところも要素として入れてもいいのではないか。（事務局）
- ・人を呼ぶならこういう手、予算をかけずにやるならこう、というように研究結果として選択肢をあたえるやり方もいいのかな。（針生）
- ・女川と比べるとロケーションも違うし、行きやすさも違うから人が集まらなかったが、予算をかけているから人が来ましたという風には思われたくない。
- ・資料1の事業名が間違っているのではないか。防集もあるが、土地区画整理事業もある。人間が住むところは、土地区画整理事業である。

⇒凡例が逆なので、修正する。

- ・分析上、どこかにでてきたか？

⇒ここでは、時間の関係で出せなかったが、他ではある。

- ・計画人口を2100人にしてほしい。（市）
- ・開催時間をどう捉えるのか？メインだけ考えると3時間ほどだが、全体的に考えるのか。
- ・複合型の実行委員会のよさは出ているが、実行委員会の中身の要因等を掘り下げて考えたらいと思う。

◎議事録分析（針生）

- ・グラフの見方がわかりにくかった。見方について解説して欲しい。

⇒丸が大きいほど、議事録での発言が多い。線のつながりは関係性を示している。色は近い分類のものが同じ色。多様分析というものは、0より原点が遠くなると特徴が現れるグラフになっている。1次提言と2次提言は似たような特性をもっていて、横方向がハードとソフト、縦が外部性・地域性を特徴として捉えて推移を表した。

⇒針生さんなりに議事録を分析すると、閑上をどうすると活性化するかとか、長期的に見ると公営住宅にはどういった問題があるかというのを議論されている。時期によって当然変わってきている。外部の多様性や地域のこと等を分析している。会議の進め方の設定もきいていると思う。（坂口）

⇒言葉を引っ張り出すためのソフトを使っている。昔から小説や物語を分析したりするのに使っていた。

- ・議事録の分析からのまとめはドキドキして聞いていた。まち協でも気づいてはいるが、どの分析のどういう事項からこの結果になったのかの紐付けをもう少し説明の中で強調した方がいいと思う。我々は178回も世話役会をしているから、この結果はわかるのだが、まち協を知らない人でも納得できるような説明の流れが大切だと思った。
- ・まちづくり協議会が5年半かけてやってきたことを、引き継ぐような若者が出てこない、まちづくりが成り立たないというような結論付けのまとめ方が必要ではないかと思う。
- ・まとめの組織構成は、話に出ていたものが出てきていた。小林さんのものに新たな手法を取り入れ、視点を変えてまとめていったと思う。同じ議事録分析でも視点を変えると面白いと思った。
- ・本文の2ページ目の上の部分。計画人口2100人に対応するのは5700人。7000人のところを5700人。2000人が1380人。当初の計画人口が2100人に訂正して下さい。(市)
- ・発表するポイントはツールを使って分析して、分析したことからどういうことに気づいて、何を導いたかというストーリーをちゃんと説明できればいいと思う。ポイントを省かないように注意。
- ・全体的に情報量が多すぎる。3つくらいの段階に分析していて、1つは宮城県全体協議会の結論。議論のテーマが2つめ。最後に分析の中で傾向が見える。まとめのところで混ぜて考えるのではなく、それぞれの結論を出したほうがすっきりすると思う。軸設定の裏づけをもう少し強く持ったほうが客観性も出ていいと思う。(事務局)
- ・最後の結論で、まち協のHPあったらいいなという理想論。わかりやすく書いたらいいと思う。
- ・まち協が出来た後の経緯がHPや出版物でも見当たらず、わからないところがあった。

◎地域防災力向上プロジェクト(坂口先生)

- ・モバイルキッチンについて、12月で制作をして1月に使ってみたい。屋外、公民館、小中学校等。研究室で加藤さんを中心にやることになる。
- ・具体的にやることは、まち協で随時相談していく。
- ・中央緑道を活用したら、魅力だと思う。中央緑道のあり方等も検討できる。
- ・実際の避難所となる場所で実験がしたい。
- ・車というよりは、屋台に近い。動かすのに軽量化。微水力発電や蓄電池を使うことも考えている。建築以外の人にも協力してもらおう。3月にプレゼンがある。完成したら、春以降に置き場所などをまち協で相談したい。お祭りや日常的に使えるようにしたい。公園等の屋外空間を使う手助けになればと思う。
- ・使わないときにどうするかも考えて欲しい。保管場所や置場所などが意外と重要だと考える。
- ・興味がある会社に製品化?してもらえればいいかな。

3. プロセスの伝承について

- ・対話②の「もし」的な議論は意味があるのか?
- ・話のしようだと思う。どういう論点で話をするかだと思う。
- ・住みたくないよりも、早く仮設から出たいと思っていた人が多いと思う。
- ・若者は内陸に再建した人が多い。そういう人に話を聞くのもいいと思う。それぞれの金銭面や教育面で内陸に行った人もいる。

- ・復興方針の選択は一時期出てきた問題。もう1つの方に選択していたらどうなっていたのかを考えるのはいいと思う。
- ⇒当時、いろんな考えがあったが、まちが出来た状態で考えるのもぜんぜん違うし、今あるもので何がなかったのかなど、考えるにはいい話し合いだと思う。何が正解で何が間違っていたという問題ではなく、どういう考えの中で選択したかを明らかにしていく機会だと思う。(事務局)
- ⇒閑上らしさをつかめるチャンスだと思う。
- ・ファシリがうまく導いてくれたら良いと思う。
- ⇒一般市民の人もたくさん参加してほしい。(事務局)
- ・日程は令和2年1月12日を予定している。午前、午後の両方やったらいいと思う。あまり人数が多いとまとまらない気がする。
- ・全体の構造として、対話②は対話①に組み込まれていると思う。対話②のテーマを考えたほうが良いと思う。
- ・閑上に被災はしていないが、住む人がいる。そういう人たちに、入ってもらいと良いと思う。住んでいなくても子供が小中学校に通っている人などに、閑上の経緯を聞いて欲しいと思う。
- ・対話のテーマをもう少し考える。人集めが難しそう。
- ⇒対話①も正解はなく、みんなの意見が正しいとおもう。(事務局)
- ・いろいろな経験や結果を伝承したい。残したい。
- ・日程を決めてから、声がけをする。
- ⇒1月12日を予定に、増田公民館で調整を行なう。時間等は中身を決めてから。(事務局)
- ・誰に声をかけるか。世話役の方でも人選して参加の声掛けを行なっていく。
- ・南部さん2人に声がけ。再建ではなく、震災当時からいる人も可能。誰でも良い。
- ⇒傍聴は10名程度。多いのは可能。登壇者と一般者の会話はなし。質疑応答のみ。(事務局)
- ⇒大学などに声をかけると、研究生等も集まってくれる。(事務局)
- ・次回のまち協までに整理する。お知らせなども早めに作成し、声掛け時に活用できるようにする。

4. その他

- ⇒宮城復興連携センターからお知らせがあった。昨年もやった、まちづくり自慢大会。会場を閑上にしたらどうかと提案があった。2/29に開催予定。テーマは未定。(事務局)
- ・受けるべきだと思います。
- ⇒60~80名のワールドカフェ形式だと、かなり広い会場が必要になる。(事務局)
- ・公民館の体育館やトレイルセンターを予定。
- ・アンケートの説明。
- ・11/28 復興省察の研究会に針生と宇佐美が出席する。(石巻)

以上

<次回世話役会>

- ・次回世話役会は12月3日(火)とする。

次回予定:世話役会(179)12/3(火)18:30~ 閑上中央公民館会議室